

板柳中生が都内で「ゼミ」参加

首都圏就職に挑戦を



本県出身経営者

働く喜びや体験談披露

首都圏で活躍する本県出身経営者で組織する「A O s u k i」(天間晃彦会長)は24日、東京・品川のホテルで板柳中学校(新潟春夫校長)の修学旅行生を対象に、首都圏で働く喜びや体験談を座談会形式で伝える「フューチャーズゼミ」を開いた。

(下山高秋)

同会は修学旅行応援企画として、上京した県内中高校生に向けたゼミを昨年から開催。首都圏で起業・勤務もしくは学ぶ本県出身者(スピーカー)の体験談などを伝えることで職業観育成を図る狙いで、今回は板柳中2年の修学旅行生約130人が参加した。

生徒たちは13グループに分かれ、本県出身の経営者や社会人、学生を囲んで、体験談に聞き入った。スピーカー(左)の体験談に聴き入る生徒たち

て働くのであれば、ぜひ挑戦してほしい」と生徒たちに熱弁を振った。

ゼミに参加した工藤遥奈さん(13)は「皆さんは東京で一生懸命働いていると実感できました。自分も将来、楽しく働くことができたと思う」と感想を語った。